

「事業評価のためのチェックリスト」(市区町村用)の実施状況に係る評価基準の設定について

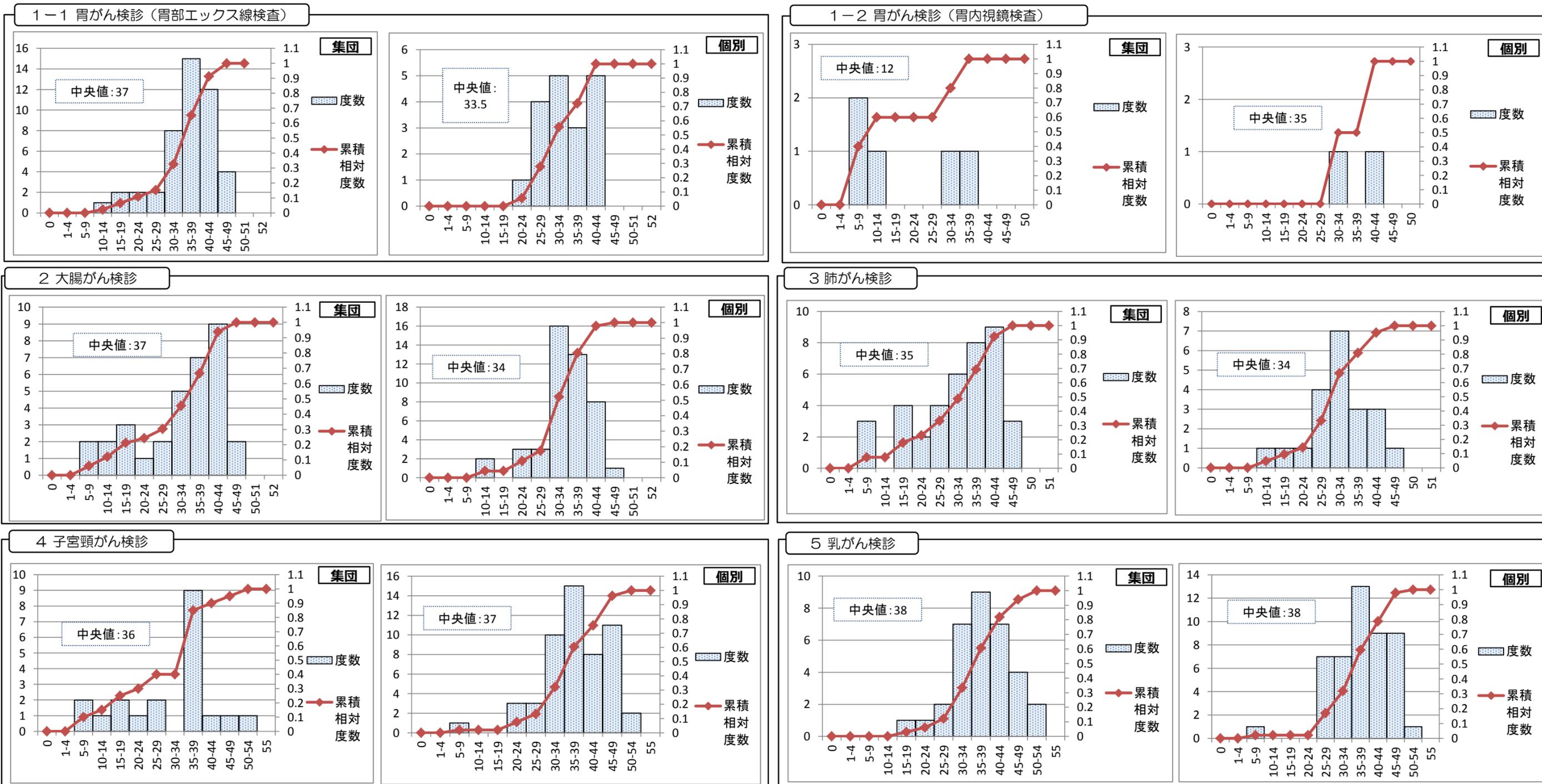
1 評価基準設定の目的

「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」報告書(平成20年3月)において、生活習慣病検診等管理指導協議会はがん検診事業の技術・体制的指標である「事業評価のためのチェックリスト」(以下「CL」という。)の市区町村における実施状況を分析・評価し、都道府県は生活習慣病検診等管理協議会が行った事業評価の結果に基づき市区町村に対して必要な指導等を実施することが必要とされている。
上記指導等を実施するにあたりCLの実施状況に係る評価基準を設定し、一定の評価基準に満たない区市町村に対し改善指導通知を発出することにより、当該区市町村におけるがん検診事業における体制整備、精度管理の向上を図る。

2 評価基準設定にあたっての考え方(出典:「令和元年度全国がん検診従事者研修」精度管理ツール(雛形集)令和元年度版(国立がん研究センターがん対策情報センター))

- ・チェックリスト項目は最低限のがん検診体制であるため、A評価=満点(100%)とし、その他の評価基準は中央値や四分位数などに基づいて設定する。
- ・各市区町村の評価を経年比較できるよう、当分の間は評価基準を変更しない。
- ・「A」を目標レベル達成、「B」を許容レベル達成、「C」以下を改善指導の対象として、「C」以下の区市町村に改善を促す。
- ・生活習慣病検診等管理指導協議会(がん部会)が必ず各市区町村の結果の分布を確認し、独自に改善指導の対象とすべき評価基準を設定する。

3 各がん検診(集団/個別)における都内区市町村のCL実施項目数の分布(「平成30年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果に基づき作成)



4 CL実施状況に基づく各がん検診の評価基準（案）
1ページの2及び3を踏まえ、以下を評価基準（案）とする。

各がん検診（検査）におけるCL項目数及び中央値（「平成30年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果）

	胃				大腸		肺		子宮頸		乳	
	胃部エックス線		胃内視鏡		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
	集団	個別	集団	個別								
CLの全項目数	52		50		52	34	51	34	55	37	55	38
中央値の項目数	37	33.5	12	35	37	34	35	34	36	37	38	38

- ◆「A/B/C/D/E/Z」の6段階評価（ただし、「A評価＝満点（100%）」、「Z評価＝未回答」とする。）とし、中央値の項目数を基準として実施項目数をBからEまでの各評価基準に均等に振り分ける。
◆各がん検診（検査）での集団検診・個別検診の中央値を比較した場合、胃内視鏡検査及び子宮頸を除き集団検診の方が高値（乳は同値）であるため、集団検診の中央値を基準とする。
ただし、胃内視鏡検査では個別検診の方が著しく高値であるため、個別検診の中央値を基準として実施状況の改善を図る。

【評価基準（案）】

※数字はCL実施項目数

評価	内容	胃		大腸	肺	子宮頸	乳
		胃部エックス線	胃内視鏡				
A	チェックリストを全て満たしている	52	50	52	51	55	55
B	チェックリストを一部満たしていない	45-51	43-49	45-51	43-50	46-54	47-54
C	チェックリストを相当程度満たしていない	37-44	35-42	37-44	35-42	37-45	38-46
D	チェックリストを大きく逸脱している	29-36	27-34	29-36	27-34	28-36	29-37
E	チェックリストを極めて大きく逸脱している	28以下	26以下	28以下	26以下	27以下	28以下
Z	調査に対して回答が無い	-	-	-	-	-	-

- ・「C評価」における最低実施項目数を中央値とする。
・「C評価」以下の区市町村を改善指導対象とする。

上記評価基準（案）に該当する区市町村数及び割合（「平成30年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果）

評価	1 胃がん検診								2 大腸がん検診			
	胃部エックス線				胃内視鏡				集団		個別	
	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合
A	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
B	4	8.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.1%	1	2.2%
C	21	45.7%	6	33.3%	1	20.0%	1	50.0%	15	45.5%	15	32.6%
D	14	30.4%	9	50.0%	1	20.0%	1	50.0%	8	24.2%	22	47.8%
E	7	15.2%	3	16.7%	3	60.0%	0	0.0%	8	24.2%	8	17.4%
Z	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	46		18		5		2		33		46	

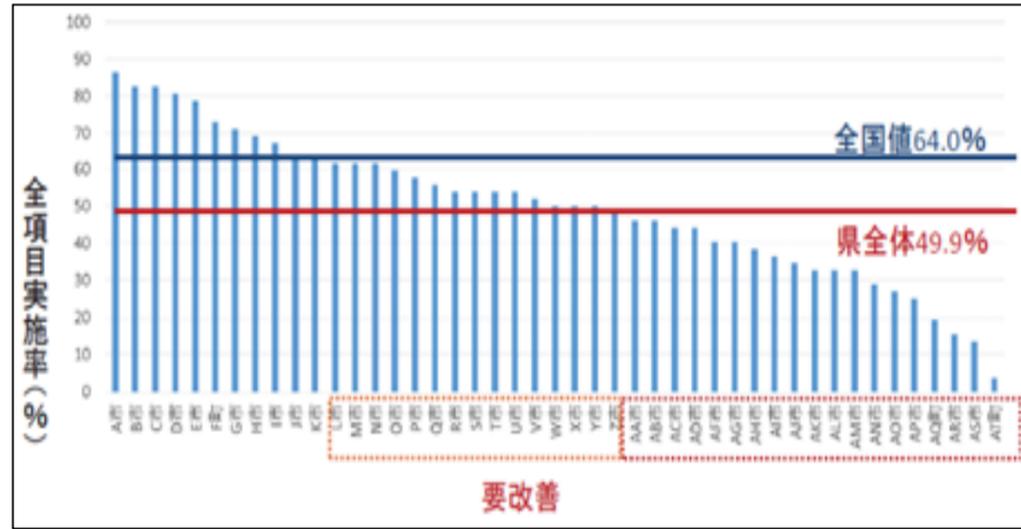
評価	3 肺がん検診				4 子宮頸がん検診				5 乳がん検診			
	集団		個別		集団		個別		集団		個別	
	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合
A	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
B	8	20.5%	2	9.5%	2	10.0%	9	17.0%	5	15.2%	7	14.9%
C	12	30.8%	5	23.8%	5	25.0%	20	37.7%	12	36.4%	17	36.2%
D	9	23.1%	10	47.6%	6	30.0%	17	32.1%	13	39.4%	16	34.0%
E	10	25.6%	4	19.0%	7	35.0%	7	13.2%	3	9.1%	7	14.9%
Z	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	39		21		20		53		33		47	

5 評価基準の公表方法

「令和元年度 東京都精度管理評価事業」結果の一環として、以下のイメージにより公表の予定である。

<例>

平成30年度「事業評価のためのチェックリスト」実施状況の評価結果 胃がん検診（胃部エックス線検査）／ 集団検診



評価	内容	実施項目数
A	チェックリストを全て満たしている	52
B	チェックリストを一部満たしていない	45-51
C	チェックリストを相当程度満たしていない	37-44
D	チェックリストを大きく逸脱している	29-36
E	チェックリストを極めて大きく逸脱している	28以下
Z	調査に対して回答が無い	-

↓

評価「C」以下の区市町村を
改善指導の対象とする。

評価	区市町村数	割合
A	0	0.0%
B	3	15.8%
C	10	52.6%
D	4	21.1%
E	2	10.5%
Z	0	0.0%
	19	

自治体名	実施項目数	非実施項目数	評価
1 A区	43	9	C
2 B区	34	18	D
3 C区	38	14	C
4 D区	40	12	C
5 E区	44	8	C
6 F区	49	3	B
7 G区	43	9	C
8 H区	46	6	B
9 I市	48	4	B
10 J市	43	9	C
11 K市	26	26	E
12 L市	38	14	C
13 M市	27	25	E
14 N市	35	17	D
15 O町	35	17	D
16 P町	40	12	C
17 Q町	41	11	C
18 R村	38	14	C
19 S村	34	18	D

- ◆グラフは実施率高値の順とする。（図の出典：「平成30年度全国がん検診従事者研修」（国立がん研究センターがん対策情報センター））
- ◆また、CL調査の各項目についての各区市町村の回答及び実施率を一覧表にして公表する。
- ◆なお、各区市町村の評価を経年比較するとともに改善状況が把握できるよう、来年度以降は前年度の評価をあわせて公表する。

6 改善指導対象区市町村への指導等の内容

改善指導通知の内容については、次回の東京都生活習慣病検診管理指導協議会（がん部会）において検討、決定することとする。